

防犯活動日記

(9/24 川越比企地域振興センター)

今回は鶴ヶ島市のわかば風の会のパトロールにお邪魔し、お話を伺いました。



■いつ頃から活動されているのですか？

約8年前にわかば風の会の発足と同時に始めました。子どもたちへの犯罪が増えるなか、この地域で、この町で、そのような事件が決して起こることがないようにという思いでのスタートです。

■防犯パトロールの概要を教えてください

月1～2回1時間程度、16時から17時に徒歩で富士見地区内をパトロールしています。富士見公民館との共催事業ということで、公民館を拠点に活動しています。

■パトロールには何人位参加していますか？

多い時、少ない時、いろいろです。2人から7、8人くらいです。

■パトロールで工夫している点がありますか？

継続して続けることを大切にしています。無理に大人数を集めるようなことはせず、少人数でも当日に2人以上集まればパトロールを行うこととしています。

健全育成協議会では3年ごとに小中学生を対象にアンケート調査をしています。その結果をふまえて、過去に不審者情報があった地点を重点的に見回り、地域の方々や子どもたちに声をかけながら活動しています。



■パトロールでお困りのことはありますか？

「できる時にできる人が」ということで無理をせず継続しているので、特に困ることはありません。

■パトロールで良かったことはありますか？

パトロールは、「アウトドアサロン」ともいえます。日頃の活動の情報交換やいろいろおしゃべりをして連帯感が深まっています。パトロールの仲間は子どもの活動である「プレーパーク」や「こどもの公共工事」にもいつも協力的です。

■今後の課題や抱負をお願いします

本来ならば、人数を増やしてバリバリとパトロールをするように頑張るべきでしょう。でも、これではくたびれてしまいます。無理をしないで続けていきたいと思います。



本日は、ご協力いただきありがとうございました。
今後ともよろしくお願いします！